

第5回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議・議事概要

日時：令和2年4月29日（水）19:00～
場所：沖縄県医師会館3階ホール

1 報告事項

(1) 前回会議を受けての対応(糸数統括監)

(ア) 概要

第4回専門家会議の各提言への県の対応状況を説明

(イ) 質疑・意見等

- ・ 県が専門家会議からの提言に対応していただいていることに感謝する

(2) 感染状況の評価(地域保健課久高班長)

(ア) 概要

コロナ感染症患者の発生状況を説明。本日はゼロ。

(イ) 質疑・意見等

- ・ 新規患者はゼロだが、本日、中部病院で死亡例があった。

(3) 現状認識・倍加時間(国吉所長)

(ア) 概要

- ・ 陽性率が低くなってきている(6.7%)。
- ・ 感染拡大のスピードが遅くなってきている。
- ・ 保健所の頑張りで、感染ルートが確認できつつあるが、リンクが追えた人と、濃厚接触者としてマークしていた人では大きく違う。マークしていた人からのみ、発症が確認されることを目指す。

(イ) 質疑・意見等

- ・ 発症から診断、確定まで時間がかかっている。検査までの道筋を見直す必要がある。
- ・ 感染症治療の基本は、早期診断。
- ・ 早め早めの検査でクラスターを囲い込むことが重要

(4) 2つの目標、5つの戦略(高山先生)

(ア) 概要

- ・ いろんな人がコロナ対策に関わる中で、目標と戦略を共有する必要がある。
- ・ 長期戦になる。未来予測、イメージを共有する必要がある。4月の流行は、小さな波の1つに過ぎない。

(イ) 質疑・意見等

- ・ この目標と戦略は、感染症に関わる人から見ると、当然のことだが、対策の目標と基本戦略、流行シナリオを、ブリーフィングを活用し、情報共有する必要がある。
- ・ 医療、観光産業それぞれの基本戦略を考える必要がある。
- ・ 今、しっかりやれば食い止められるというメッセージを併せて発出。

2 議 題

(1) 重点医療機関の選定について(糸数統括監)

(ア)概要

- ・ 今後を見据えて、コロナ診療に特化した重点医療機関の設定を検討している。
- ・ 国の提言でも全都道府県に設定すべきとある。浦添総合病院が重症患者を多く受け入れている。

(イ)質疑・意見等

- ・ 浦添総合病院が、指定医療機関に並ぶ貢献をいただいている。そのなかで浦添に助けてもらうという認識。

(2) PCR検体採取センター(総括情報部當山主幹)

(ア)概要

- ・ 設置に向けて地区医師会と医療機関が連携する。
- ・ 浦添、北部、那覇で始める。浦添と北部は5月1日から。

(イ)質疑・意見等

- ・ 誰でも自由にPCR検査が受けられるというわけではなく、従来どおり、医師の判断が必要。医師がためらわずにPCR検査に回せるような体制。

(3) 濃厚接触者となった児童への対応(名渡山子ども生活福祉部長)

(ア)概要

- ・ 親が罹患して、看護する人がいない子どもへの対応に苦慮している。

(イ)質疑・意見等

- ・ 親が軽症であれば、軽症者用ホテルに入居可能。その他はケースバイケース。
- ・ 看護する人が罹患した高齢者は、グループホームで受入れを検討しているところに相談を。

(4) 学校休業、イベント自粛の考え方(教育長、商工労働部)

(ア)概要

- ・ 自粛期間の延長等について、意見を聞きたい。

(イ)質疑・意見等

- ・ 教育長、沖縄県の判断を尊重する。
- ・ 学校が再開した後に、子どもたちの間での感染の拡大に気をつける必要がある。症状が出にくく、潜む可能性がある。保健所に随時相談し、数人が休むと感染を疑うなどの注意が必要。